

夢 農業の若手リーダーを育成 夢・うきうき未来塾



田辺正宣さんが農業経営のコツを伝授

7月25日、将来の農業に希望を見いだす地元農家の若手リーダーを育成・支援を目的とした講座「夢・うきうき未来塾」の開講がありました。

市の農業振興策の一つで、市内の認定農家やその家族を対象に、平成19年度中に計6回の講座を開き、10月には先進地視察も予定しています。講師は、県内の先導農家や農業法人の経営主に依頼。農業経営のノウハウを学びます。

この日は、八代市の農業法人日進温室組合会長の田辺正宣さんの「感動!! 農業」と題しての講演があり、「農業はサービス業の感覚で」「現場の環境美化を」などの経営のコツを伝授。受講者たちは、新たな発想や技術を熱い思いで語る講師の話に熱心に聞き入っていました。

率直な提言などを期待 市政モニター7人を委嘱

8月6日、市役所新館で第1回宇城市市政モニター会議が開かれ、モニターの7人に委嘱状が手渡されました。

市政モニターは、市民の「生の声」を市政に取り入れ、市民との協働によるまちづくりを目指すために設けられたものです。（任期2年）

今後、平成19年度末までに3回の会議と市有施設の見学、アンケートなどを行い、随時市政に関する意見、提言、要望などを市政に反映させていきます。



市民と行政が連携したまちづくりを進めます

やったぞ! 日本一だ! 不知火ファイターズJrが 全国大会を制覇!



金メダルを胸に、ガッツポーズ!

第10回記念全国小学生（3・4年生）ティーボール選手権大会が8月6日、埼玉県所沢市のグッドウィルドームでありました。全国都道府県から選抜された32チームが参加。

昨年の大会3位の悔しさを胸に、九州代表で出場した不知火ファイターズJrは、「みんなは一人のために、一人はみんなのために」をモットーにチームワークで次々と強敵を撃破。決勝でも3連覇を狙う強豪、清水フリーバーズマツ（大阪・松原市）を5対3で破り、みごと全国制覇を果たしました。

宇城市と崇城大学との連携協力協定調印式



地域おこしや教育、文化などで連携協力していきます

大学的人的・知的資源でまちづくり 崇城大学と地域おこしで協定

8月1日、地域の特性を生かした文化性豊かなまちづくりのため、宇城市は崇城大学（熊本市、中山峰男学長）と人的・知的資源の交流・活用に関する協定を結びました。調印式は市役所であり、市と大学から約30人が出席。中山学長が「地域に根差した大学として知的財産を還元したい」とあいさつしました。

今後は、教育・文化・スポーツの振興、国際交流促進、農業振興、まちづくりの推進について、崇城大学との連携協力により取り組む予定です。

調印式後、市側から桑の実を活用したワインづくりや不知火海の浄化、塩害農地の土壌改良などが研究テーマ案として提案されました。

くまもと県民カレッジ 子育て応援講座

7月26日、小川総合文化センターラポートにおいて、くまもと県民カレッジ サテライト教室「子育て応援講座」が開講されました。

これは、家庭教育の重要性が叫ばれる中、子育てに迷う大人たちと一緒に、これからの子育てのあるべき姿を考えようといわれたものです。

約170人の参加があり、福岡教育大学名誉教授の横山正幸さんが「子どものやる気を育てるために～今、子どもたちに必要なものは～」と題して講演。受講者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

また後半は、三角幸三（小川小学校）校長が「わが家の家庭教育10カ条」のワークショップを開き、参加者は各々の「わが家の家庭教育10カ条」を作成しました。



2回目の講座は、9月12日にラポートで開催されます

熱いレースを展開 不知火海伝馬舟競漕大会



しぶきを浴びながら力漕する各チーム

8月12日、不知火町松合の松合新港で、第14回不知火海伝馬舟競漕大会が開催されました。職場や地域団体など60チーム約500人がそろいのハッピーTシャツ姿で参加。

往復150m～200mのコースを5人編成（小学生は7人）による手漕ぎと、3人編成による櫓（ろ）漕ぎの部に分かれ、種目ごとに予選、決勝が競われました。

今年は、神戸大学で航海技術を学ぶ学生たちが初めての参加、炎天下の海上で白熱したレースを展開し会場を盛り上げました。参加した学生らは、会場で参加者へのアンケート調査を実施、伝馬船競漕での体験を基に卒論を仕上げるということです。